

## 修士論文の和文要旨

大学院 情報システム学研究科 博士前期課程 情報システム運用学専攻		
氏名	清水 政博	学籍番号 0552015
論文題目	聞き取り調査に基づく 三鷹市SOHO集積施設と事業者に関する研究	
要旨	<p>近年、情報化社会の発達にともない、新たな就業形態であるSOHO（ソーホー；Small Office-Home Office）が注目されている。本論文が注目した三鷹市を含む多くの地方自治体では、地域産業振興や地域活性化を目的としてSOHO事業者の集積支援事業に取り組んでいる。三鷹市は他地域に先駆けて1998年より集積支援事業を行い、これまでに設置した集積施設が8施設、集積した事業者は110社（2006年7月現在）となっている。</p> <p>本論文の目的は、これら三鷹市の集積施設に入居している事業者を対象とした質問票（74事業者）、聞き取り調査（74事業者）を行い、事業者の事業内容や起業状況などの実態をできるだけ正確に把握し、事業者達の特徴を把握することである。調査の結果、三鷹市のSOHO事業者のほとんどは専業であり、従来のSOHO事業者の年齢層に比べ50歳以上の事業者の比率が高く、収益性や専門性は予想外に高い事業者が多数含まれていた。また多くの事業者らが前職での経験や資源を生かした事業活動を行っていることも判明した。さらに事業者の年商を推定しSOHO事業者集積による地域への経済波及効果を産業連関分析の考え方をを用いて推計した。最後に三鷹市が目的としている事業者間協働事業創出をとりあげ、協働事業開始の重要な要素として事業者間の信頼に着目した。そして事業者同士が協働事業を起こし、継続するような状況をモデル化してシミュレーション実験を行った。その結果、事業者のコミュニティに2つの信頼度が異なるグループが存在する場合、相対的に能力が低いグループに属する事業者らの能力の分散（信頼度）にばらつきを持たせると、プロジェクトの成功確率の著しい低下を抑えることができることがわかった。</p>	